

城端線・氷見線利用状況調査について

城端線・氷見線利用者の乗車目的・乗車形態・乗車区間など、現在の利用実態を把握するため、全駅において乗降者数カウント調査及びアンケート調査を実施した。

1 業務委託概要

- ・ 業務委託者 株式会社計画情報研究所
- ・ 履行期間 平成27年8月31日～平成28年2月15日

2 利用状況調査の概要

(1) 調査日

平日：平成27年9月17日（木） 休日：平成27年9月13日（日）

(2) 調査対象

調査日の城端線・氷見線の各駅、全便において乗降者数カウント及びアンケート票配布による調査を実施。高岡駅は城端線ホーム、氷見線ホームごとに乗降者数をカウントした。

(3) 調査項目

- ①乗降者カウント数
- ②アンケート内容 性別、年齢、乗車目的、切符の種類（定期・定期外）、居住地、自宅から駅までの交通手段、他線への乗り継ぎの有無

3 利用状況調査の結果

(1) 各駅の乗車人数（推計値）

調査結果をもとに、城端線・氷見線の各駅の1日あたりの乗車人数を推計した。平成22年度に城端・氷見線活性化推進協議会で実施した同様の調査と比較すると、全体として約1.1倍の増加結果となった。

線名	駅名	H27今回調査	H22前回調査	H27/H22
城端線	高岡駅(城端線)	2,318	2,099	1.10
	新高岡駅	414	—	—
	二塚	41	62	0.66
	林	20	23	0.87
	戸出	845	817	1.03
	油田	371	318	1.17
	砺波	1,099	1,011	1.09
	東野尻	150	181	0.83
	高儀	98	74	1.32
	福野	713	648	1.10
	東石黒	44	40	1.10
	福光	492	548	0.90
	越中山田	43	50	0.86
	城端	192	251	0.76
◎城端線合計		6,840	6,121	1.12
氷見線	高岡駅(氷見線)	2,040	1,837	1.11
	越中中川	1,311	1,196	1.10
	能町	136	115	1.18
	伏木	280	275	1.02
	越中国分	316	311	1.02
	雨晴	60	95	0.63
	島尾	195	217	0.90
	氷見	812	776	1.05
◎氷見線合計		5,150	4,822	1.07
全体		11,990	10,943	1.10

(2) 城端線・氷見線を跨る利用者数（推計値）

高岡駅で城端線・氷見線を跨る利用者数は、全体で1,217人であった。

城端線→氷見線 617人

氷見線→城端線 600人

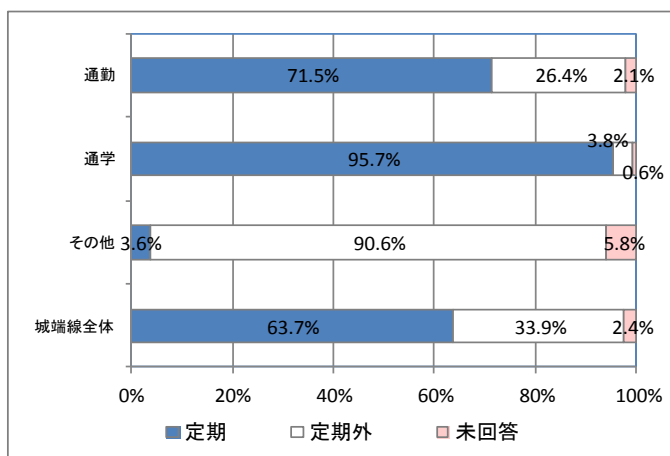
※利用率は乗車駅ベース

降車市	氷見市	高岡市	砺波市	南砺市	合計	利用率
乗車市						
氷見市		64	2	1	67	5.5%
高岡市	79	340	206	155	780	64.1%
砺波市	2	214			216	17.7%
南砺市	1	153			154	12.7%
合計	82	771	208	156	1,217	100%

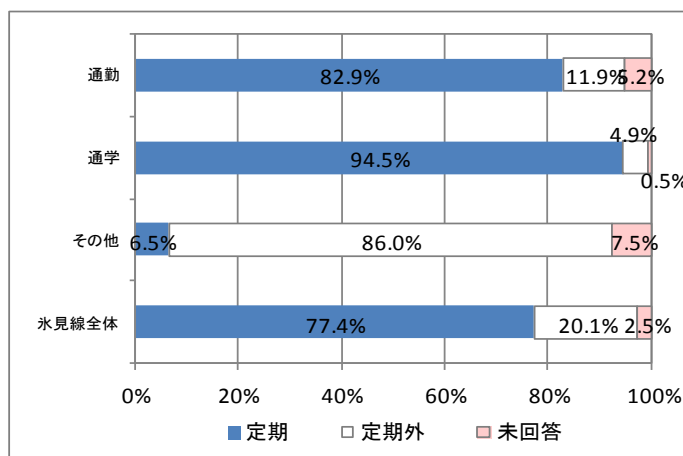
(3) 定期・定期外利用の割合

城端線では63.7%、氷見線では77.4%が定期利用者であった。両線とも、「通勤」「通学」目的では定期利用割合が高く、「その他」目的では定期外利用割合が高い。

城端線

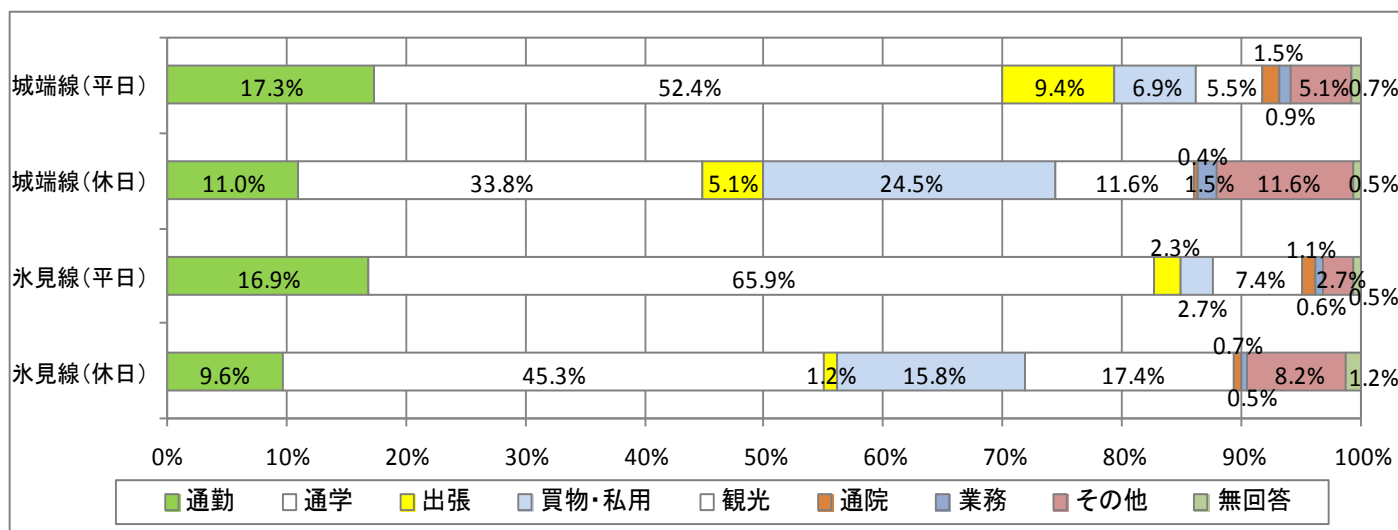


氷見線



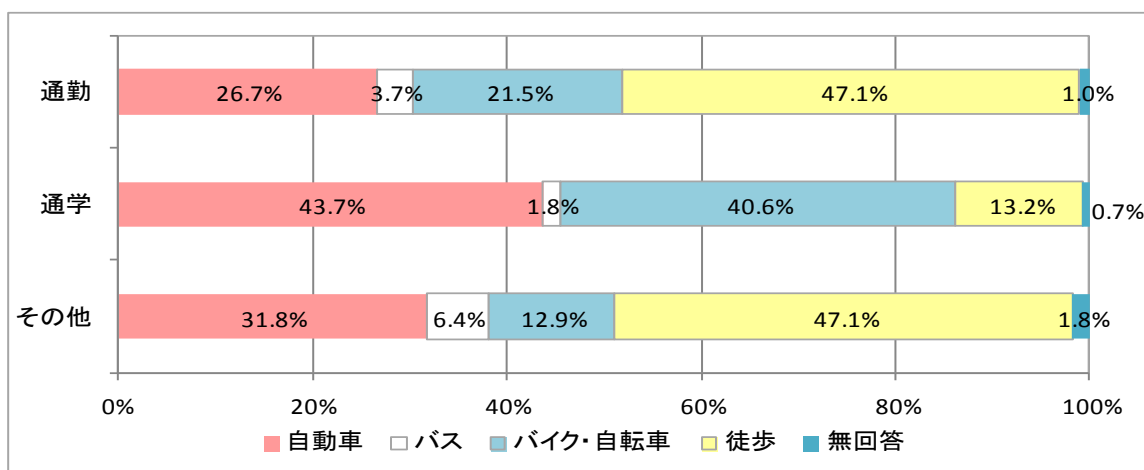
(4) 城端線・氷見線の乗車目的

乗車目的別割合は、城端線（平日）では「通勤」「通学」が69.7%、次いで「出張」が9.4%と高い。城端線（休日）では、「通勤」「通学」「出張」の割合が下がり、「買物・私用」「観光」の割合が高くなっている。氷見線（平日）では、「通勤」「通学」が82.8%、次いで、「観光」が7.4%と高い。氷見線（休日）では、「通勤」「通学」の割合が下がり、「観光」「買物・私用」の割合が高くなっている。



(5) 自宅から駅までの交通手段（城端線・氷見線合計）

自宅から駅までの交通手段は、「通勤」目的は徒歩、自動車、「通学」目的は自動車、バイク・自転車、「その他」目的は徒歩、自動車の順に高い結果となった。

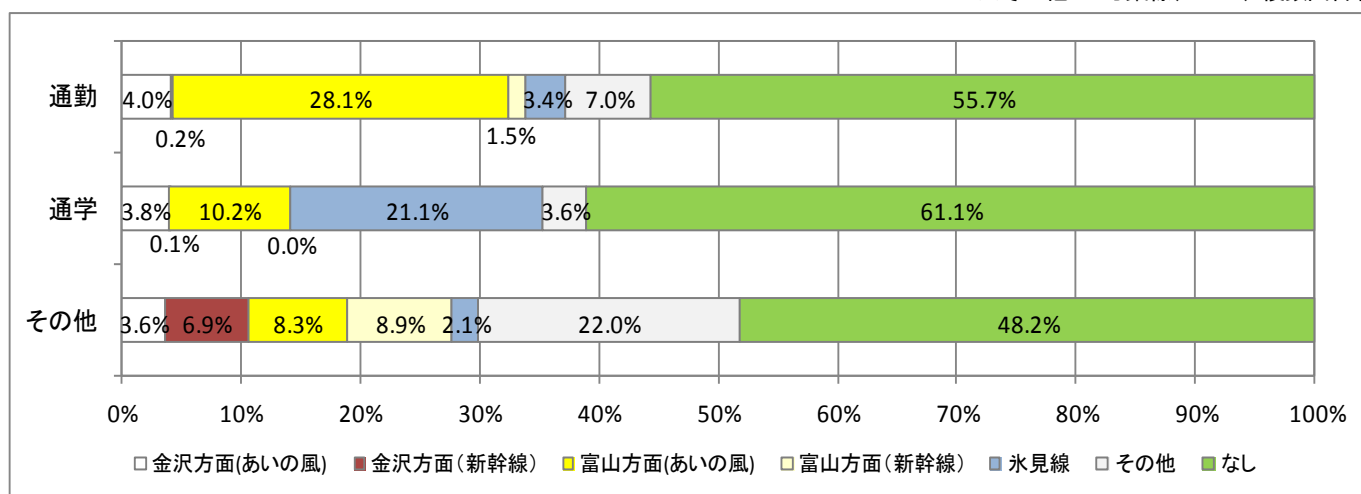


(6) 城端線・氷見線から他線への乗り継ぎ状況

城端線・氷見線から他線へ乗り継ぎ状況は、城端線では「通勤」目的は富山方面（あいの風）、「通学」目的は氷見線、「その他」目的はその他回答が最も高い。氷見線では、「通勤」目的は富山方面（あいの風）、「通学」目的は城端線方面、「その他」目的はその他回答が最も高い結果となった。

城端線（利用目的別）

※その他…万葉線、バス、複数回答者



氷見線（利用目的別）

